

布魯特

蒙古族

又哈薩克の一族たる布魯特種は、其の風采哈薩克の如く美ならず。風俗は大概相同じきも、只一の異あるは、女子の頭上に白布を高く纏ふこと、是のみ。

蒙古族は身體健全の風あるも、長大ならず。面相平扁、鼻低く、頬骨出て、皮膚銅色を帯び、概して風采揚からず。

男子の服装は略、支那人服に似たる長袍を着け、一般人は之を綿布にて作り、富者は絹布氈氈及毛皮を以て製す。帽も亦支那帽と同形にして、色は藍色、紅色其他の色彩を用ひ、頂上に尺餘の紅絲一把を附し、之を後方に垂下すること、僅に支那人と異なり。

女子の辮髪は、纏頭回と同じ。衣服は下衣のみ男服に同じきも、上衣は略、纏頭回用のものに似て、兩袖及前襟に繡箔を施し、帯は長く垂下して地に委せり。頭には笠敷様黑色の羊毛帽を冠し、妙齡の婦人は、小形の男帽に、金襴の縁を附けたるを冠す。衣服の色彩は、概して男子は藍又は鼠色、女子は紅色を愛用し、履物は、男女共に柔革を以て製したる長靴を穿てり。

男女、腰部には、革帯を結束し、之に革袋を附け、中に繩紐、小刀、箸及燧石等の日用要